

整備機器

新商品

東洋精器工業

「ウェイトセッター ぺた2」

ウェイト貼り付け作業の課題解決へ



一般的な貼り付け作業①とウェイトセッター「ぺた2」を用いた作業②。その作業性の違いは一目瞭然



ホイール balancer 「7300P」

東洋精器工業がこのほど発売したバランスウェイトを装着する際に効率的な作業を実現する「ウェイトセッター ぺた2(ぺたぺた)」。

数年前までホイールのバランスウェイトは鉛製が多く使用されていたが、近年は廃棄時の環境汚染などが問題となり、鉄(スチール)が主流になっている。曲げたり好きな位置でカットしたりと、加工がしやすい鉛に対し、鉄は作業性に劣る面は否めない。現場からは「ウェイトの比重が変わり、同じ修正重量でも鉄の方が長くなる」形状が変わったため鉛と比べ貼り付け作業が困難になった」といった声も聞かれていた。

これまで複数回行うのが当たり前だった貼り付け作業を一度で済ませる「残留アンバランスを発生させないことが効率面でも効果を発揮するのは間違いなさそう。塵も積もれば山となる」と言いが、1回あたり数十秒の時間ロスでも年間間で考えれば大幅な改善につながる。

「7300P」との組み合わせだ。一般的なホイール balancer で使用しても作業効率の改善が見込まれるが、「7300P」のように修正箇所をレーザーポインターで照射するモデルなら、もう一段上の作業環境が実現できる。青木部長は「完璧なバランスング作業」と自信を持ってお客様に提供できる」と力を込める。

同社が「ウェイトセッター ぺた2」の発売に伴い強く提案しているのが、ホイール balancer として照射される。また、近で自動停止する機能を搭載し、手動で位相を合わせる手間を省くことができる。

もちろん「ウェイトセッター ぺた2」は「7300P」をはじめとした同社製品以外の balancer でも使用できる。例えば、貼り付け作業が難しくなりがちな、修正位置がホイールの真上に来るような場合にも効果を発揮する。



修正箇所を照射する balancer と併用し 完璧な balancer 作業を



販売企画部の青木茂雄技術部長

また、「ウェイトセッター ぺた2」は均一的な作業にも貢献する。青木部長は「 balancer そのものは精度が高まり、年々付加機能が多様化して利便性が

貼付けミスやウェイトの追加装着から生じる余分なコスト、加えて balancer を作動させる際の電気代や部品の消耗もある。青木部長は「少しずつの積み重ねにより、

同社の「7300P」は、ホイール balancer の自動入力ユニットが標準で装備されており、 balancer の中央に刻まれている「中心線」とレーザーポイントを合わせさえすれば、ジャストの位置

「ここで「ウェイトセッター ぺた2」を活用すれば、一発で済む。 balancer の中央に刻まれている「中心線」とレーザーポイントを合わせさえすれば、ジャストの位置

業界初となる「ウェイトセッター ぺた2」。青木部長をはじめ、同社の社員が顧客を訪問する中で「こういうものがあれば良いのに」という想い、そして「今までは複数回作業を行うことが当たり前で、改善すべき点が見落としていた」という気付きから生み出されたアイデア商品だ。

balancer ウェイト貼り付け作業で生じる様々な課題を解決でき、なおかつ簡単に導入できる balancer として脚光を浴びていきつつだ。

(林 岳史)



動画共有サイトでも特徴を説明している